

## 4. 死因

### (1) 死因順位

死因順位別死亡数及び死亡率は、表7のとおりである。本県の死亡総数のうち、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患のいわゆる三大死因による死亡数の占める割合は51.1%と、全国の54.2%より低くなっている。

表7 死因順位別死亡数及び死亡率

死因	死亡数			死亡率(人口10万対)				構成比(%)	
	三重県			三重県		全国		三重県	全国
	平成24年	平成23年	対前年増減	平成24年	平成23年	平成24年	平成23年	平成24年	
総数	19,210	19,271	△ 61	1060.7	1061.2	997.5	993.1	100.0	100.0
1 悪性新生物	5,123	5,218	△ 95	282.9	287.3	286.6	283.2	26.7	28.7
2 心疾患(高血圧性を除く)	2,764	2,841	△ 77	152.6	156.4	157.9	154.5	14.4	15.8
3 脳血管疾患	1,921	1,966	△ 45	106.1	108.3	96.5	98.2	10.0	9.7
4 肺炎	1,824	1,867	△ 43	100.7	102.8	98.4	98.9	9.5	9.9
5 老衰	1,404	1,196	208	77.5	65.9	48.2	41.4	7.3	4.8
6 不慮の事故	752	818	△ 66	41.5	45.0	32.6	47.1	3.9	3.3
7 腎不全	398	384	14	22.0	21.1	19.9	19.4	2.1	2.0
8 自殺	370	359	11	20.4	19.8	21.0	22.9	1.9	2.1
9 大動脈瘤及び解離	274	264	10	15.1	14.5	12.6	12.4	1.4	1.3
10 慢性閉塞性肺疾患	252	287	△ 35	13.9	15.8	13.0	13.2	1.3	1.3

注) 厚生労働省公表数値を使用している。

## (2) 年齢別死因

本県における年齢階級（5歳階級）別にみた三大死因の死亡数は、図7のとおりである。また、年齢階級別にみた死因順位は、表8のとおりである。40～44歳から80～84歳までは「悪性新生物」、85歳以上は「心疾患」が1位となっている。一方、35～39歳より年齢の低い階級では「自殺」、「不慮の事故」など外因死が大きな割合を占めている。

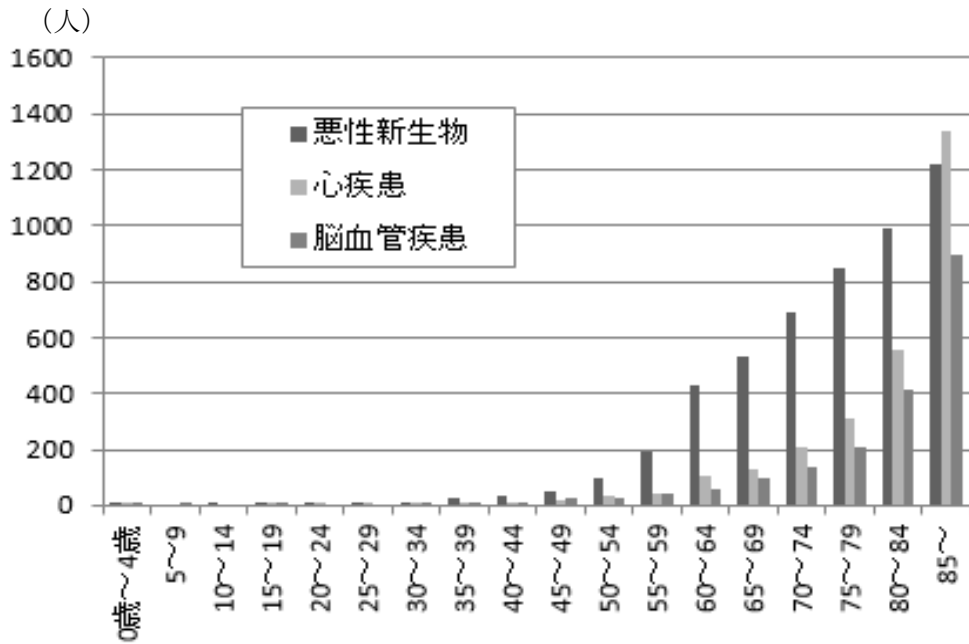


図7 年齢階級（5歳階級）別にみた三大死因の死亡数

表8 年齢階級別にみた死因順位－死亡率（人口10万対）・割合（％）

(歳) 年齢	1		2		3		4		5	
	死因	率	死因	率	死因	率	死因	率	死因	率
総数	悪性新生物	278.6 (26.7)	心疾患 (高血圧性を除く)	150.3 (14.4)	脳血管疾患	104.5 (10.0)	肺炎	99.2 (9.5)	老衰	76.4 (7.3)
0	先天奇形、 変形及び 染色体異常	108.1 (33.3)	周産期に発生した 病態	60.8 (18.8)	不慮の事故	20.3 (6.3)	乳幼児突然死 症候群	13.5 (4.2)	腸管感染症	6.8 (2.1)
1～4	不慮の事故	6.4 (21.1)	腸管感染症	4.8 (15.8)	肺炎	3.2 (10.5)	先天奇形、 変形及び 染色体異常	3.2 (10.5)	乳幼児突然死 症候群	3.2 (10.5)
5～9	脳血管疾患	1.2 (33.3)	先天奇形、 変形及び 染色体異常	1.2 (33.3)	不慮の事故	1.2 (33.3)				
10～14	不慮の事故	2.2 (33.3)	悪性新生物	1.1 (16.7)	先天奇形、 変形及び 染色体異常	1.1 (16.7)	自殺	1.1 (16.7)		
15～19	不慮の事故	10.9 (37.0)	悪性新生物	4.4 (14.8)	自殺	4.4 (14.8)	心疾患 (高血圧性を除く)	1.1 (3.7)	脳血管疾患	1.1 (3.7)
20～24	自殺	23.7 (43.2)	不慮の事故	16.2 (29.5)	その他の新生物	3.7 (6.8)	悪性新生物	1.2 (2.3)	糖尿病	1.2 (2.3)
25～29	自殺	24.9 (50.0)	不慮の事故	11.9 (23.9)	悪性新生物	1.1 (2.2)	心疾患 (高血圧性を除く)	1.1 (2.2)	肺炎	1.1 (2.2)
30～34	自殺	29.0 (41.7)	不慮の事故	13.5 (19.4)	悪性新生物	9.7 (13.9)	心疾患 (高血圧性を除く)	5.8 (8.3)	その他の新生物	1.0 (1.4)
35～39	自殺	21.5 (28.6)	悪性新生物	17.7 (23.5)	不慮の事故	7.7 (10.2)	心疾患 (高血圧性を除く)	6.9 (9.2)	脳血管疾患	3.8 (5.1)
40～44	悪性新生物	25.1 (28.9)	自殺	25.1 (28.9)	心疾患 (高血圧性を除く)	7.6 (8.8)	脳血管疾患	6.9 (7.9)	肝疾患	3.0 (3.5)
45～49	悪性新生物	42.2 (26.5)	自殺	30.2 (18.9)	脳血管疾患	22.4 (14.1)	心疾患 (高血圧性を除く)	17.2 (10.8)	不慮の事故	10.3 (6.5)
50～54	悪性新生物	90.5 (36.5)	自殺	29.9 (12.0)	心疾患 (高血圧性を除く)	28.1 (11.3)	脳血管疾患	23.5 (9.5)	不慮の事故	14.5 (5.8)
55～59	悪性新生物	167.1 (44.7)	心疾患 (高血圧性を除く)	37.8 (10.1)	脳血管疾患	36.1 (9.6)	自殺	23.7 (6.4)	不慮の事故	18.5 (4.9)
60～64	悪性新生物	292.8 (48.6)	心疾患 (高血圧性を除く)	70.3 (11.7)	脳血管疾患	41.9 (7.0)	自殺	27.0 (4.5)	不慮の事故	25.7 (4.3)
65～69	悪性新生物	443.0 (49.5)	心疾患 (高血圧性を除く)	107.2 (12.0)	脳血管疾患	80.4 (9.0)	不慮の事故	37.7 (4.2)	肺炎	31.8 (3.6)
70～74	悪性新生物	636.9 (42.3)	心疾患 (高血圧性を除く)	193.9 (12.9)	脳血管疾患	123.7 (8.2)	肺炎	83.1 (5.5)	不慮の事故	60.0 (4.0)
75～79	悪性新生物	897.1 (34.4)	心疾患 (高血圧性を除く)	330.3 (12.7)	肺炎	236.4 (9.1)	脳血管疾患	219.5 (8.4)	不慮の事故	118.2 (4.5)
80～84	悪性新生物	1360.4 (27.2)	心疾患 (高血圧性を除く)	759.3 (15.2)	脳血管疾患	569.5 (11.4)	肺炎	521.3 (10.4)	老衰	200.8 (4.0)
85～	心疾患 (高血圧性を除く)	2006.3 (16.4)	悪性新生物	1833.3 (15.0)	老衰	1812.2 (14.8)	肺炎	1576.1 (12.9)	脳血管疾患	1346.0 (11.0)

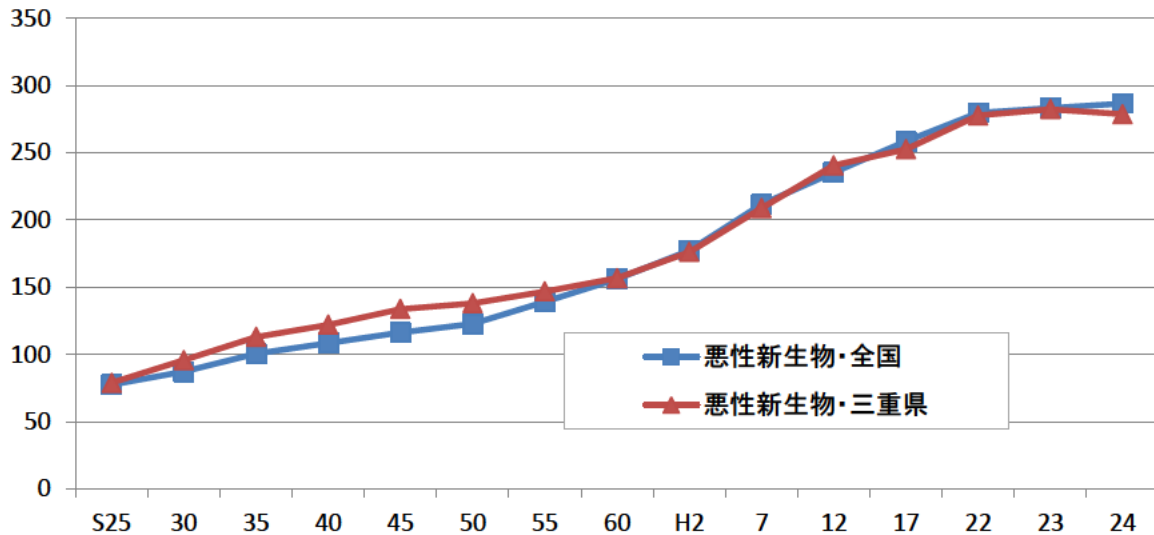
注 ・死因順位に用いる分類については巻頭の付表を参照。  
 ・乳児の死因については、乳児死因分類による。  
 ・死亡率は日本人の事件件数を分子、総人口を分母として算出したものである。  
 ・率の上段は各年齢階級における人口10万対死亡率、下段は各年齢階級の死亡総数に占める割合（％）。

(3) 三大死因及び糖尿病による死亡数及び死亡率

「悪性新生物」、「心疾患」及び「脳血管疾患」の三大死因並びに「糖尿病」による死亡数及び死亡率の推移は、表9、図8のとおりである。平成24年においては、「脳血管疾患」及び「糖尿病」の死亡率が全国値を上回っている。

表9 三大死因及び糖尿病による死亡数及び死亡率（人口10万対）の推移

年次	死 亡 数				死 亡 率 (人口10万人対)							
	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	糖尿病	悪性新生物		心疾患		脳血管疾患		糖 尿 病	
					三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国
昭和25年	1,190	950	1,814	50	78.8	77.4	65.0	64.2	124.1	127.1	3.4	2.4
30	1,421	1,073	2,022	54	95.7	87.1	66.8	60.9	136.1	136.1	3.6	2.5
35	1,677	1,323	2,501	102	112.9	100.4	91.0	73.2	168.4	160.7	6.9	3.4
40	1,847	1,479	2,769	115	122.0	108.4	98.3	77.0	182.8	175.8	7.6	5.2
45	2,050	1,682	3,092	176	133.6	116.3	109.8	86.7	201.6	175.8	11.5	7.4
50	2,243	1,838	3,075	197	137.9	122.6	113.0	89.2	189.1	156.7	12.1	8.1
55	2,480	2,176	2,742	168	146.7	139.1	128.7	106.2	162.2	139.5	9.9	7.3
60	2,723	2,472	2,584	184	156.6	156.1	142.2	117.3	148.7	112.2	10.6	7.7
平成2年	3,137	2,910	2,247	185	176.0	177.2	163.3	134.8	126.1	99.4	10.4	7.7
7	3,808	2,341	2,566	278	208.7	211.6	128.3	112.0	140.6	117.9	15.2	11.4
12	4,409	2,359	2,108	245	240.5	235.2	128.7	116.8	115.0	105.5	13.4	9.8
17	4,628	2,877	2,175	247	252.5	258.3	157.0	137.2	118.7	105.3	13.5	10.8
19	4,781	2,731	1,902	216	261.1	266.9	149.2	139.2	103.9	100.8	11.8	11.1
20	4,925	2,875	1,924	238	263.4	272.3	153.8	144.4	102.9	100.9	12.7	11.5
21	4,862	2,715	1,878	218	266.7	273.5	148.9	143.7	103.0	97.2	12.0	11.1
22	5,058	2,890	1,902	227	277.7	279.7	158.7	149.8	104.4	97.7	12.5	11.4
23	5,218	2,841	1,966	246	282.3	283.2	153.7	154.5	106.4	98.2	13.3	11.6
24	5,123	2,764	1,921	247	278.6	286.6	150.3	157.9	104.5	96.5	13.4	11.5



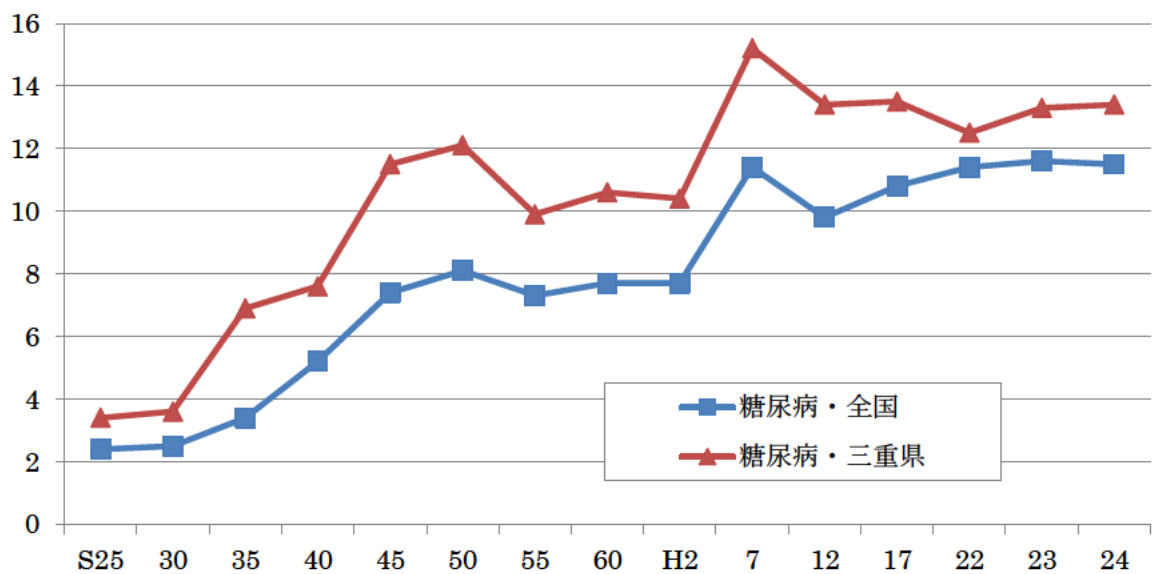
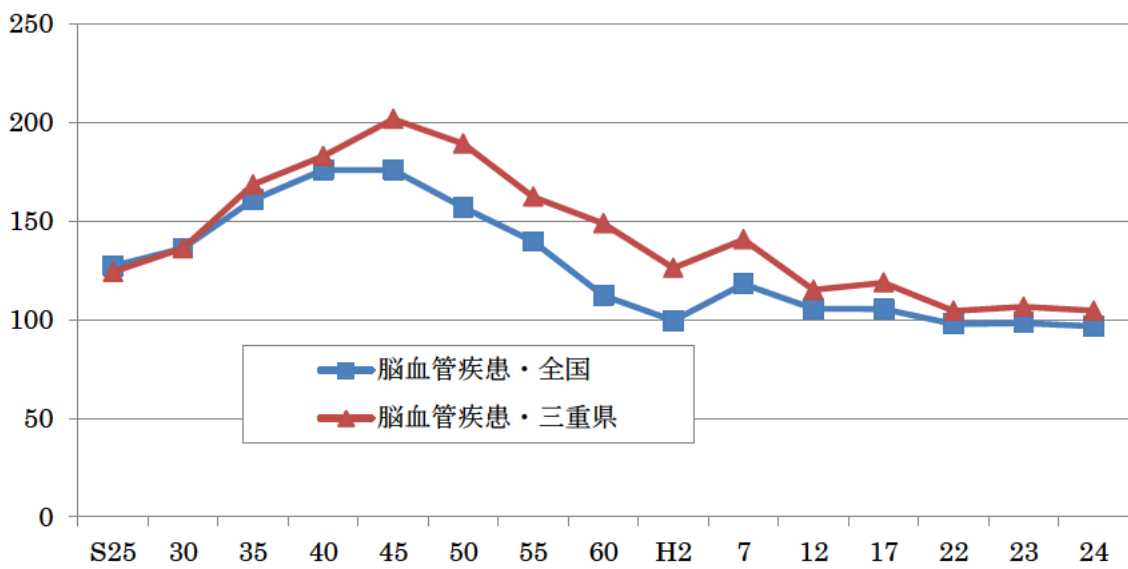
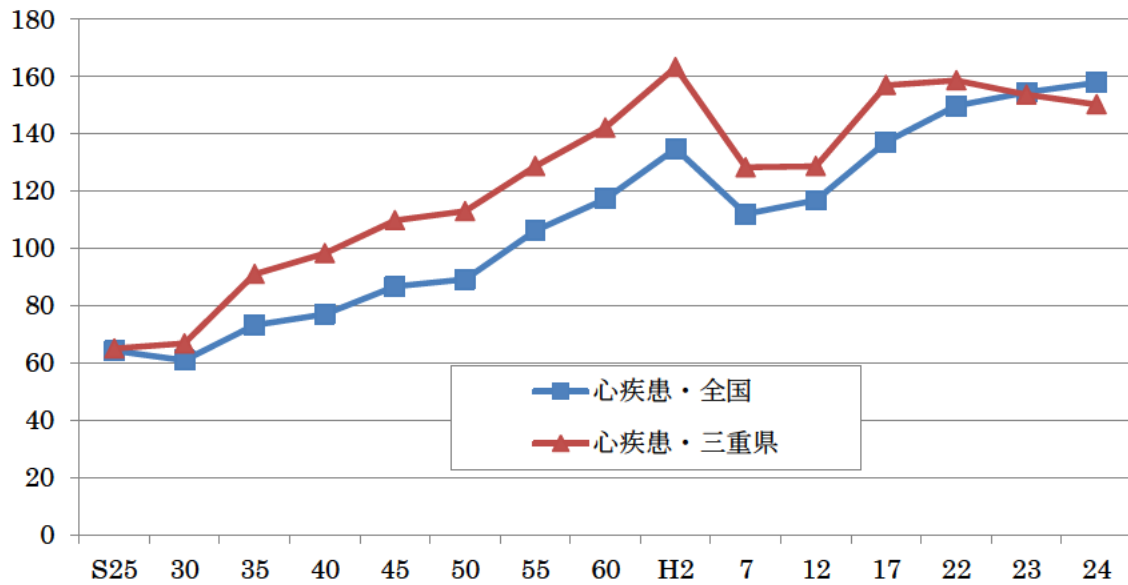


図8 三大死因及び糖尿病による死亡率（人口10万対）の推移

(4) 悪性新生物の部位別死亡数及び死亡率

部位別にみた悪性新生物の死亡数及び死亡率は、表10のとおりである。前年の値と比較すると、「胃」、「直腸S状結腸移行部及び直腸」、「卵巣」等が死亡数、死亡率ともに増加し、「肝及び肝内胆管」、「気管、気管支及び肺」、「白血病」等が減少している。

表10 悪性新生物の部位別死亡数及び死亡率

	死亡数(三重県)			死亡率(人口10万対)			
	三重県			三重県		全国	
	平成24年	平成23年	対前年増減数	平成24年	平成23年	平成24年	平成23年
総数	5,123	5,218	△ 95	282.9	287.3	286.6	283.2
口唇、口腔及び咽頭	87	102	△ 15	4.8	5.6	5.7	5.5
食道	142	134	8	7.8	7.4	9.2	9.5
胃	768	749	19	42.4	41.2	39.0	39.5
結腸	444	444	0	24.5	24.4	25.5	24.6
直腸S状結腸移行部及び直腸	215	205	10	11.9	11.3	12.0	11.6
肝及び肝内胆管	390	422	△ 32	21.5	23.2	24.4	25.3
胆のう及びその他の胆道	244	271	△ 27	13.5	14.9	14.5	14.4
膵	423	445	△ 22	23.4	24.5	23.8	22.8
喉頭	11	15	△ 4	0.6	0.8	0.8	0.8
気管、気管支及び肺	1,077	1,120	△ 43	59.5	61.7	56.8	55.7
皮膚	30	28	2	1.7	1.5	1.2	1.2
乳房	156	156	0	8.6	8.6	10.0	10.2
子宮	85	85	0	9.1	9.1	9.5	9.4
卵巣	73	63	10	7.9	6.8	7.3	7.3
前立腺	150	147	3	17.0	16.6	18.2	17.6
膀胱	98	103	△ 5	5.4	5.7	5.8	5.6
中枢神経系	29	26	3	1.6	1.4	1.7	1.7
悪性リンパ腫	185	176	9	10.2	9.7	8.6	8.2
白血病	105	131	△ 26	5.8	7.2	6.3	6.5
その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	61	66	△ 5	3.4	3.6	3.3	3.3
その他(上記以外)	350	330	20	19.3	18.2	20.7	19.9

注) ・子宮、卵巣の死亡率は女子人口10万対の値である。

・前立腺の死亡率は男子人口10万対の値である。

・算出に用いる人口は、厚生労働省公表の日本人人口である。